

# 病院機能評価 第3世代 Ver.3.0

## 最新状況(2022年11月 時点)



# 病院機能評価の現状

全国	8,193 病院中	2,044 件の認定	(24.9%)
広島	235 病院中	74 件の認定	(31.5%)

2022/4/1 付

病院機能評価の認定が影響する診療報酬や施設認定など

- 急性期充実体制加算、総合入院体制加算1及び2、緩和ケア病棟入院料、緩和ケア診療加算  
「医療機能評価を受けている病院または準じる病院」
- 感染対策向上加算1、2及び3、患者サポート体制充実加算、回復期リハビリテーション病棟入院料1及び3  
「機能評価等の第三者の評価を受けていることが望ましい」
- 特定機能病院、臨床研究中核病院、がん拠点病院  
「第三者の評価を受けること(特定機能病院は結果も公表)」
- 臨床研修指定病院、地域医療支援病院  
「第三者の評価を受けることを推奨(望ましい)」
- 救命救急センターの充実評価 … 認定病院は加点
- 非医師が理事長になる際の要件
- 広告することができる事項

届出のためには認定取得が必須です。

同種同規模の施設と比べて、認定を有して当然と捉える。

※ 第三者の評価: 病院機能評価、ISO9001、JCI(海外版機能評価)、など

# 受審申込状況

2022年10月25日時点の受審申込状況※1 は表の通りです。

受審申込可能件数	主たる機能種別	2023年						2024年								
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	一般病院1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○	△	△	○
	一般病院2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○
	一般病院3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	△	○	○	△
	緩和ケア病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	△	—	△
	慢性期病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	△	○	—	△
	精神科病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○	○	○	○
	リハビリテーション病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	△	—	—	○
	高度・専門機能	2023年						2024年								
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	救急医療・災害時の医療	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—
	リハビリテーション機能(回復期)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	△	—	△	○

※1 申込状況の見方

「○」… 受付可能 「△」… 受付可能数わずか 「—」… 受付終了

## <申込時の留意事項> ~必ずご一読願います~

- 病院機能評価の訪問審査の質を担保するため、受審申込数に上限を設定させていただいておりますので、ご希望の月でお申し込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。
- 副機能を受審される病院は、その機能種別の申込状況もご確認ください。
- 申込状況は上記日付時点のものです。「○」「△」の表記であっても受付できない場合がございますので、予めご了承ください。
- 2024年9月以降の受審申込は受付開始前です。
- 更新受審病院におかれましては、認定有効期限内での受審受付可能月がない場合は、認定有効期限を超えて2024年8月まで受審することが可能です。認定有効期限を超えても認定は継続されます。

# 機能種別と区分(病床数)、サーベイヤの人数について

機能種別		区分1	区分2	区分3	区分4
評価料(税込)		¥1,485,000	¥1,848,000	¥2,695,000	¥3,058,000
一般病院1 緩和ケア病院	許可病床数	20~99床	100床以上	境目が500床から 400床へ変更	
	サーベイヤ人数	3名: 医師、看護師、事務			
一般病院2	許可病床数	20~99床	100~199床	200~399床	400床以上
	サーベイヤ人数	3名: 医師、看護師、事務		6名: 医師x2、看護師x2、事務x2	
リハビリ病院 慢性期病院 精神科病院	許可病床数	20~199床	200床以上		
	サーベイヤ人数	3名: 医師、看護師、事務			
一般病院3	評価料 サーベイヤ人数	評価料: ¥5,588,000 (税込) SVR 9名: 医師x2、看護師x2、事務x2、薬剤、安全、リーダー			
副機能	評価料 サーベイヤ人数	評価料と人数: ¥242,000 (税込、主機能と同日)、SVR 1名 ¥616,000 (税込、主機能と別日)、SVR 2名			

# 病院機能評価 Ver.3.0 における変更の概要

評価項目を単位とした調査以外に、テーマ別に調査を実施（従前も一般病院3は、一部の内容を実施していた）。

## • カルテレビュー

- ✓ 日常的なカルテの記載状況を点検 ..... すべての病院

## • テーマ別の面接

- ✓ 事務部門(組織、経営、人材) ..... 区分3、区分4、一般3
- ✓ 地域・患者支援 ..... 区分4、一般3
- ✓ 薬剤 ..... 一般3
- ✓ 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、臨床研究 ..... 一般3
- ✓ 医師・歯科医師、看護師の教育 ..... 区分3、区分4、一般3
- ✓ 幹部面接 ..... 区分4、一般3

## • 医療安全・感染対策ラウンド

- ✓ 医療安全と感染対策に特化したラウンド ..... 区分3、区分4、一般3

# カルテレビューについて

対象： 全ての種別と区分。

点検： 日常的なカルテの記載状況の確認。

- ✓ 審査用に準備したものの以外の記載を確認
- ✓ 説明と同意の様子(記載)
- ✓ 診療・ケアの様子(記載)

SVR： 医師と看護師が手分けして確認

準備： 電カルの場合は、医師SVR用と看護師SVR用に2台を用意

視点： 医師と看護師、多職種の記録を確認(職種に拘らず確認)。

例数： サーベイヤ(SVR)の一人当たり5例程度以上を確認。

対応： 電子カルテ操作に慣れた職員(診療録管理担当の職員)。  
カルテ内容の説明は不要です(記録の確認に専念する)。

# ケアプロセス調査における受審病棟の選択について

- 病院組織全体の質改善活動を確認するため、病院が予め準備した対象（訪問病棟、確認症例等）の他に、機構またはサーベイヤーが受審する病棟を指定します。
- 受審病棟の数：区分1と2は2か所、区分3と4は4か所。このうち病院側の指定は1か所です。医療機能の指定は、区分1と2は1か所、区分3と4は3か所です。
- 一般病院3の場合、病院の指定は2か所、医療機能の指定は3か所です（計5か所）。

申込した種別と一致する病棟は、どの病棟も医療機能評価機構から、指定される可能性がある。機能種別の対象のすべての病棟は、受審準備（カルテ準備）が必要となる。

# ケアプロセス調査における受審病棟の指定について

審査体制区分 (主機能の区分)	ケアプロセス調査の 受審病棟数	病院の指定数
		医療機能の指定数
区分1、区分2	2	1
		1
区分3、区分4	4	1
		3
一般病院3	5	2
		3

- 副機能の受審を一つ追加ごとに受審病棟数が一つ追加。
- 副機能の受審病棟は、病院が指定。

# 公式の資料:『受審準備ガイド』、『解説集』など

- 病院機能評価Webに、受審準備ガイドや各種の参考資料、過去の資料があります。動画の掲載もあります。

The screenshot shows the website's navigation menu with '動画' (Videos) highlighted in a red circle. The main content area displays '病院機能評価の概要' (Overview of Hospital Function Evaluation) with a list of three topics: 1. How to think about and use hospital function evaluation, 2. How to actually proceed with hospital function evaluation, and 3. About the case study approach. Below the text are three video thumbnails labeled I, II, and III.



The cover is for 'PMDA 医療安全情報 No.188' (PMDA Medical Safety Information No. 188), dated March 2022. It features the PMDA logo and the text '再周知特集 その3 (MRI検査時の注意について)' (Re-announcement Special Collection No. 3 (Notes on MRI Examination)).

The cover is for 'PMDA 医療安全情報 No.188' (PMDA Medical Safety Information No. 188), dated July 2022. It features the PMDA logo and the text '下肢閉塞性動脈硬化症の患者の弾性ストッキングの着用' (Use of Elastic Stockings for Patients with Lower Limb Obstructive Arteriosclerosis). Below the title, it states: '下肢閉塞性動脈硬化症の患者に弾性ストッキングを着用させた事例が7件報告されています(集計期間:2018年1月1日～2022年5月31日)。そのうち6件は、着用'

The cover is for the '病院機能評価データブック 2020年度' (Hospital Function Evaluation Data Book 2020). It is a yellow cover with the title in black text.

ご清聴ありがとうございました。

✓ 病院機能評価取得の各種支援

- 説明会（日時、内容はご相談に応じて）
- 評価項目と照らし合わせた現状調査と助言
- 改善と対策のための定期的な訪問、質問対応
- 面接模擬、カルテ模擬（本審査前の予行演習）

✓ レセプト請求漏れ診断

✓ 経営相談（病床戦略、経営管理帳票の作成、など）

✓ 業務改善（稼働率UP、クリニックへの営業体制、など）

✓ 研修（目標管理、個人情報保護、診療報酬改定、など）

お問い合わせ先 082-243-7331

メール [info@yb-satellite.co.jp](mailto:info@yb-satellite.co.jp)